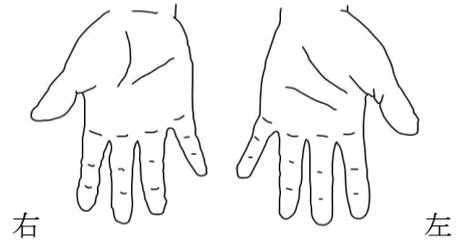
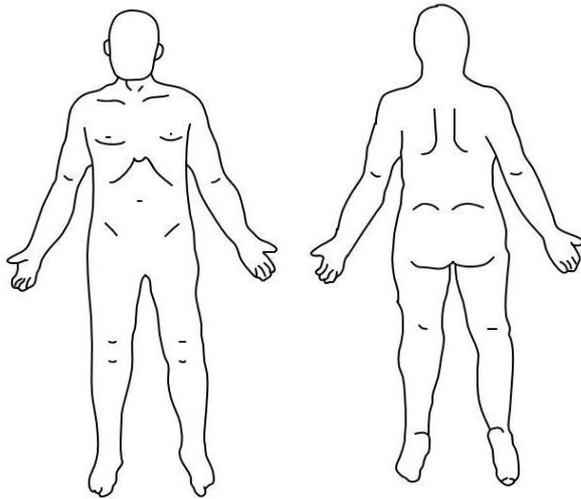


肢体不自由の状況及び所見

神経学的所見その他の機能障害（形態異常）の所見（該当するものを○で囲み、下記空欄に追加所見を記入。）

1. 感覚障害（下記図示）：なし・感覚脱失・感覚鈍麻・異常感覚
2. 運動障害（下記図示）：なし・弛緩性麻痺・痙性麻痺・固縮・不随意運動・しんせん・運動失調・その他
3. 起因部位：脳・脊髄・末梢神経・筋肉・骨関節・その他
4. 排尿・排便機能障害：なし・あり
5. 形態異常：なし・あり

参 考 図 示



右		左
	上肢長 cm	
	下肢長 cm	
	上腕周径 cm	
	前腕周径 cm	
	大腿周径 cm	
	下腿周径 cm	
	握力 kg	

× 変形 切離断 感覚障害 運動障害

(注) 関係ない部分は記入不要

活動・動作

- ・ 自立-○ 半介助-△ 全介助又は不能-×、() 中のものを使う時はそれに○
- ・ 左右の別がないものは、共働での評価とする。

寝返りをする		シャツを着て脱ぐ	
足を投げ出して座る		ズボンをはいて脱ぐ (自助具)	
椅子に腰掛ける		ブラシで歯を磨く (自助具)	右
立つ (手すり、壁、杖、松葉杖、義肢、装具)			左
家の中の移動 (壁、杖、松葉杖、義肢、装具、車椅子)		顔を洗いタオルで拭く	
洋式便器に座る		タオルを絞る	
排泄の後始末をする		背中を洗う	
(箸で) 食事をする (スプーン、自助具)	右	二階まで階段を上って下りる (手すり、杖、松葉杖)	
	左		
コップで水を飲む	右	屋外を移動する (家の周辺程度) (杖、松葉杖、車椅子)	
	左		
		公共の乗物を利用する	

注： 身体障害者福祉法の等級は機能障害 (impairment) のレベルで認定されますので () の中に○が付いている場合、原則として自立していないという解釈になります。

計測法：

- 上肢長：肩峰→橈骨茎状突起
- 下肢長：上前腸骨棘→(脛骨) 内果
- 上腕周径：最大周径
- 前腕周径：最大周径
- 大腿周径：膝蓋骨上縁上10cmの周径 (小児等の場合は別記)
- 下腿周径：最大周径